

# 東京五輪がやるってくる<sup>②</sup>

女子レスリング  
伊調馨選手



リオ五輪女子レスリング58kg級で獲得した金メダルを手に笑顔の伊調馨。4連覇を達成した=リオデジャネイロ(写真提供:共同通信社)

## 目指すは前人未到の5連覇

吉田選手が  
より多くの

五輪で正式種目となった時、伊調選手は20歳だった。1歳上の吉田沙保里選手や姉の伊調千春選手らと代表となり、金

メダルに輝いた。その後、08年北京、12年ロンドンと63kg級で連覇を重ね、階級変更があったリオでは58kg級決勝で残り3秒の逆転優勝を遂げた。

個人種目の五輪4連覇は女子では史上初となる快挙。1000年を超える歴史の中でも個人同一種目のV4達成者はパウエル・エルブストレーム選手(デンマーク)⇨セーリング・フィン級、アール・オーター選手(米国)⇨陸上・円盤投げ、カール・ルイス選手(米国)⇨陸上・走り幅跳び、マイケル・フェルプス選手(米国)⇨競泳・200m個人メドレーの4人だけ。ベン・エインズリー選手(英国)はセーリング2種目の4連覇だった。

脚光を浴びたが、その吉田選手がリオの決勝で敗れ、主役交代となった。リオ五輪の後に国民栄誉賞を受けたのも、彼女が「レジェンド」と呼ぶに値する存在となったからである。

休養に入ってから、伊調選手の動向をメディアは注目した。覚悟を決めて現役を続けられ、地元開催となる東京五輪では前人未到の個人種目5連覇がかかることになる。ところが、復帰を決める前の昨年2月、恩師によるパワハラ問題が発覚して指導するコーチとともに騒動に巻き込まれた。マツトの外で起きたこの騒ぎに引退の考えもちらつく。「レスリングをすることは自分勝手なんじゃないか」と悩み、苦しみ抜いた末の復活劇だった。

期待できるのはその経験の豊富さ。厳しい国内代表争いをくぐり抜けければ、史上初の偉業はぐっと現実味を帯びてくる。ちなみに、複数の選手で戦うベアやフォア種目を含めると、5大会連続で金メダルに輝いた選手は2人いる。ボート男子のステイブ・ブレン・レッドグレーブ選手(英国)とカヌー女子のビルギット・フィッシャー選手(ドイツ)。フェンシング男子のサーブル団体ではアラダール・ゲレビッチ選手(ハンガリー)の6連覇という五輪記録が残っている。

20年東京五輪とレスリングには因縁もある。13年にレスリングは五輪除外の危機に立たされた。国際オリンピック委員会(IOC)が20年五輪の中核競技からレスリングを除いたのだ。「伝統競技であるレスリングが外されるわけがない」と高をくくっていた国際レスリング連盟(FILA)の油断が原因だったが、会長の交代やルール改正といった改革を速やかに断行して、20年五輪の実施競技枠に滑り込んだ。

この時は存続の署名活動に一役買った。「残ってくれて本当にうれしい」と語っていた伊調選手が東京五輪へのチャレンジを決意し、19年のシーズンに突入する。五輪5連覇は成るのか? 日本だけでなく、世界中の視線が集まる。代表争いで一歩リードしたといっても、その道はまだまだ険しい。6月の全日本選抜選手権で再び川井選手と激突する。最強のライバルを倒さなければ、東京五輪にはたどり着けない。どれだけ全盛時のスピード、パワーを取り戻せるかがカギとなる。

後藤英文(後藤英文)

後藤英文 ●ごとう・ひでふみ  
スポーツジャーナリスト。共同通信社で初代スポーツ専門特派員として1985年秋から2年間、ニューヨークで勤務。MLBワールドシリーズやW杯サッカー、NFLスーパーボウルのほか、夏の五輪などを取材。2013年から5年間、びわこ成蹊スポーツ大学の教授を務めた。

## パワハラ騒動乗り越えて

それまでは「霊長類最強女子」といわれた

2020年東京五輪で誰もやったことがない「究極の連覇」に挑む女性がいる。みなさんご存知、レスリングの伊調馨選手(ALSOOK)である。16年リオデジャネイロ五輪で4連覇した後、2年ほど試合から遠ざかっていたが、昨年暮れの全日本レスリング選手権で初めて東京五輪を目指す意向を明らかにするとともに、3年ぶりの優勝を果たした。代表の座に向けて、34歳のベテランが、後輩と同じく五輪金メダリストの川井梨紗子選手(ジャパンビレッジ)に一步先んじる形となった。

五輪と女子レスリングの歩みは、伊調選手の歩みそのものだ。04年アテネ

五輪の個人種目4連覇  
パウエル・エルブストレーム(デンマーク) セーリング・フィン級 1948、52、56、60年  
アル・オーター(米国) 陸上男子円盤投げ 1956、60、64、68年  
カール・ルイス(米国) 陸上男子走り幅跳び 1984、88、92、96年  
ベン・エインズリー(英国) セーリング・レーザー級、フィン級 2000、04、08、12年  
マイケル・フェルプス(米国) 競泳男子200m個人メドレー 2004、08、12、16年  
伊調馨(日本) レスリング女子63kg級、58kg級 2004、08、12、16年  
(エルブストレームの48年は当時ファイアフライ級の呼称だった。エインズリーの2000年はレーザー級、04年からフィン級3連覇。伊調は16年の4-6階級制移行に伴う変更)